

令和6年度 文京区立礪川小学校 授業改善推進プラン 〈1年生〉

	現状分析	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひらがなの習得はできている。拗音、促音、長音については、まだ定着が十分でない面が見られる。カタカナは字形、使い方ともに、2学期も習得に力を入れていく。</li> <li>・教科書の例文をもとにして、説明する文章を書くことができる。文章の中で助詞を正しく使うこと、句読点を適切に使うことは課題がある。</li> <li>・宿題で出す音読の成果もあり、文章の一斉読みはできている。今後は意味理解や登場人物の気持ちや場面の様子を考えた読みができるよう、指導していく。</li> <li>・図書の時間はすすんで読書をしていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拗音、促音、長音等については、個別のプリント学習を行ったり、作文の中で指導したりして身に付けさせていく。カタカナは、ドリル学習や宿題で取り上げ、慣れさせる。</li> <li>・教科書を中心に文を読んだり書いたりさせ、主語と述語の構成文を書けるようにさせる。文末の句点を意識させる。</li> <li>・主語と述語の見取りを行う。また物語文で登場人物の気持ちや行動にサイドラインを引いたり、想像を広げて吹き出しや手紙を書いたりして、読みを深める活動を設定する。</li> <li>・図書の時間と共に、読み聞かせや朝読書でも本と親しむ時間を設ける。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たし算、ひき算の計算は、おおよそ定着しているが、たし算かひき算かを判断し、立式して解く問題では、問題文の解釈に課題がある児童が見られる。</li> <li>・答えの単位が何で聞かれているのかを理解できていない児童、問題を正確に読まず、自分の考えで書く児童が何人かいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵や図、文などを用いて様々な考え方ができるようにノート指導をするとともに、発表を通して自分の考え方を友達に分かりやすく説明できるよう指導を行う。</li> <li>・視覚的にも理解しやすくなるよう具体物を操作する活動などを取り入れる。</li> <li>・問題文をよく読み、何を聞かれているのかが理解できるよう、必要箇所に下線を引かせるなどの工夫を取り入れる。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物の成長や変化の様子、学校探検で見付けたことなど、観察や活動体験について、自分なりに表現することができた。</li> <li>・自分と身近な環境や人、自然とのかかわりに対して、児童の多様なものの見方や捉え方を生かす点に課題があり、気づきの質を高める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童にワークシートをかかせる際は、全体で視点を確認してから行う。必要があれば、机間指導の中で個別に話をしながら対象を絞れるように促す。</li> <li>・見付ける、比べる、例えるなどの多様な学習活動を授業に取り入れる。また、活動途中でお互いの作品を見合い、感想や質問を交わすことで気づきの質を高める。児童のワークシートを意図的に取り上げて紹介することで、自分になかった見方や表現に気付かせる。</li> </ul>

<p>音楽</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌に合わせて体を動かしたり、リズムパターンを聴き取り、拍に乗って打楽器を打ったりすることができた。</li> <li>・鍵盤ハーモニカは、ドの位置を覚え、伴奏に合わせて演奏を楽しんだ。</li> <li>・学習規律を守ってすすんで学習に取り組むことに関しては課題があり、個別に支援する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の大まかな感じを捉えて歌ったり、強さに気を付けて楽器を打ったりするようにする。</li> <li>・鍵盤ハーモニカは、タンギング、運指等を丁寧に継続的に指導する。</li> <li>・教職員間で連携を図り、一人一人に細やかな支援ができるようにする。</li> </ul>
<p>図画工作</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現活動では、素材の性質からどのように表すかを考え、試行錯誤することができた。</li> <li>・描くこと、つくることの喜びを味わい、思い付くまま学習活動に取り組むことができた。</li> <li>・すすんで材料などに働きかけ、活動を楽しんでいる。</li> <li>・形や色などから、想像をひろげ、表したいことを思い付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感覚や気持ちを生かしながら制作することに加えて、手や体全体を働かせて、表し方を工夫することで、より創造的に表現できるようにする。</li> <li>・様々な素材に触れることで、素材を扱う楽しさや面白さを味わえるようにし、表現への関心や意欲をもてるようにする。</li> <li>・体全体の感覚を使って、様々な材料と関わる題材を多く取り入れ、より表現への関心や意欲をもてるようにする。</li> <li>・友達の作品や活動の良さに気付けるよう、自然と相互鑑賞を行えるよう学習形態を工夫する。</li> </ul>
<p>体育</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、伸び伸びと体を動かすことができた。</li> <li>・誰とでも仲良く運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりすることに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードなどを用いて、できたことを視覚化する。また、友達と教え合ったり、認め合ったりする場を用意して、達成感を味わえるようにし、より運動の楽しさを感じられるようにする。</li> <li>・友達と楽しく運動することが苦手な児童には、友達とハイタッチや拍手で喜びを共有するなど、共に運動遊びをする楽しい雰囲気を実感することができるようにする。</li> </ul>
<p>道徳</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の中での発言やワークシート等で表した内容を、日常生活での実践に結び付けていくことに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをもとに、書いたり、話し合ったりする機会を授業の中に多く取り入れ、自分の考えを広げたり、深めたりすることができるようにする。また、お手本となる児童がいれば、その児童に発表させ、どのようなことを考えればいいのかを結び付けていく。</li> </ul>